

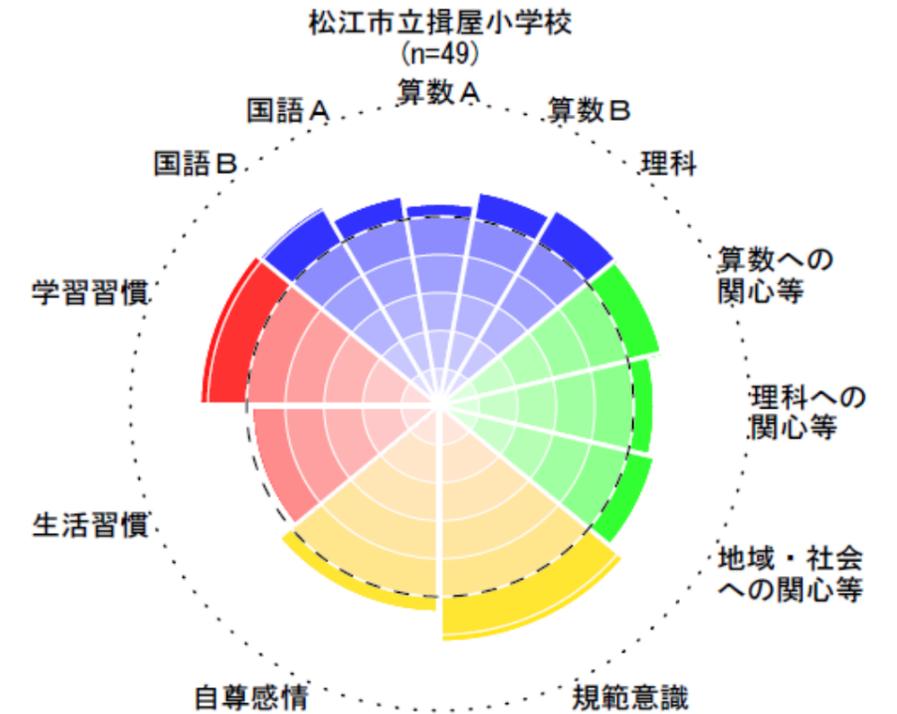
平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立揖屋小学校）

平成30年9月3日

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
国語	A (基礎)	○漢字を書いたり使ったりする力が身についている。 ●敬語を正しく使う力が十分ではない。	◇敬語を含めた言葉の使い方が正しくできるよう、日常の会話などの言語環境を整えていく。 ◇国語だけに限らず、様々な文章を読んだり書いたりする場面で、文章全体の構成を考えながら取り組めるように指導する。
	B (活用)	○記述式の問題の正答率が高く、無解答率が低いことから、文章を正確に読み取る力や文章を最後まで書く力が身についていると考えられる。 ●文章全体の構成をつかみ、文と文の関係をとらえる力が十分ではない。	
算数	A (基礎)	○分度器の使い方・読み方を理解し、角度を正確に測る力が身についている。 ●割合を使って数量関係をとらえたり、割合を数直線で表したりする力が十分ではない。	◇新しい内容を学習する際には、既習事項を思い出す時間を取り、つながりを意識できるように指導する。 ◇一つの問題に対して、多角的・多面的に考えていけるよう、ポイントを示したり、ペア学習・グループ学習を効果的に取り入れたりする。
	B (活用)	○九九の表から数量関係を正確にとらえ、それを()を使った式に表すことができる。 ●図形を組み合わせて別の図形を作ったり、図形の意味を考えたりする力が十分ではない。	
理科		○流れる水のはたらきにおいて、「たい積・運ぱん・しん食」の語句の意味や、天気と流れる水のはたらきの関係について理解している。 ●実験や観察において、条件に適切に当てはめたり、よりよい方法を考えたりする力が十分ではない。	◇自分で問題を見つけ、予想し、実験(観察)方法を考え、確かめ、振り返るといった授業構成を大切に学習を展開する。 ◇豊かな体験を積み上げられるような場を低学年時から設定し、理科の学習と結び付けていけるようにする。

(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向 (破線は全国平均)



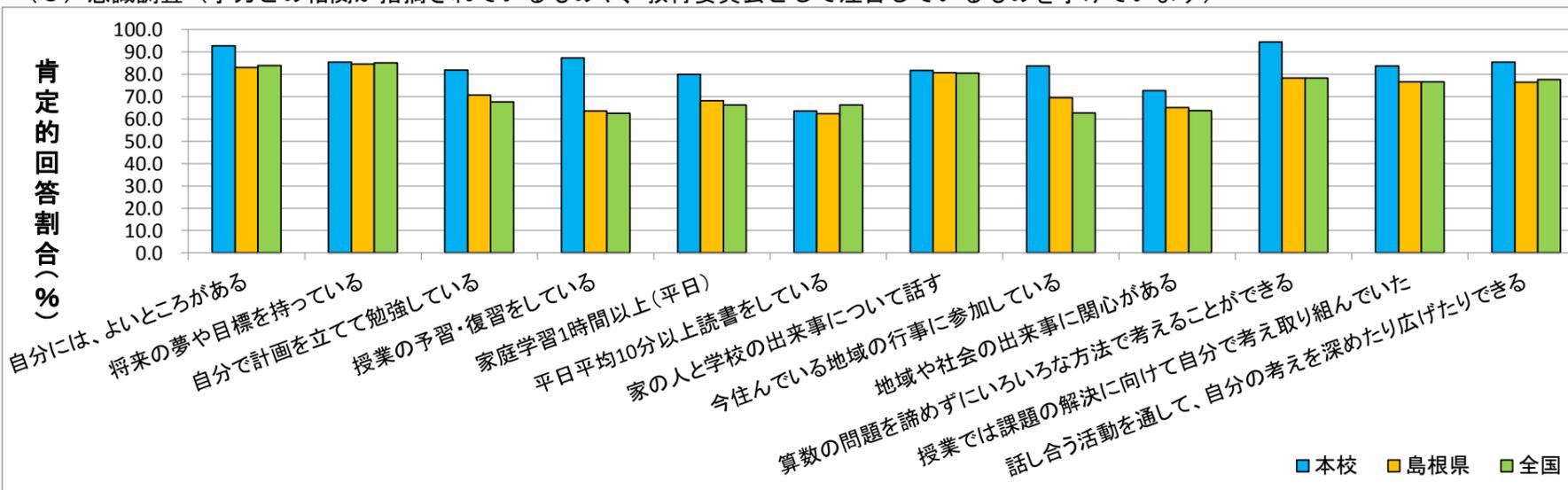
(2) 生活意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
		○宿題を含めた家庭学習に、まじめに一生懸命取り組むことができ、それが学力向上につながっていると考えられる。 ●新聞を読んでいる児童の割合は多いが、社会事象に対する関心をもっている児童が多いとは言えない。	◇読書を含めて、様々な情報に幅広く触れるような場をできるだけ多く設けるようにする。 ◇社会事象に関心をもつように、日常生活の中で、教師が話題を提供したり、児童から出された情報を広げたりするようにする。

(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

◇それぞれの教科における基礎的・基本的な事項を繰り返し指導することにより、しっかりと定着できるようにする。
◇友達とのかかわり中で、自ら問題を見つけ、考え、解決していくなど主体的に学ぶ児童を育てていく。

(3) 意識調査 (学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

		本校	松江市	島根県	全国
国語	A	75	70	68	70.7
	B	63	57	55	54.7
算数	A	65	62	61	63.5
	B	57	50	49	51.5
理科		67	59	58	60.3

受検者数 49人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。